

2014年06月24日

商号： iHeart Japan 株式会社  
代表者： 代表取締役社長 角田健治  
問い合わせ先： info@iheartjapan.jp

### タカラバイオ株式会社との契約締結について

当社はタカラバイオ株式会社と実施許諾及び技術移転契約（以下、「本契約」）を締結しましたので、お知らせいたします。

本契約の対象となる事業は、ヒト iPS 細胞をはじめとする幹細胞から分化誘導された心筋細胞などの心血管系細胞を応用したリサーチ・ツール（以下、「本リサーチ・ツール」）の製造販売業および本リサーチ・ツールを使用する試験受託業です。 これらの事業に限定して独占的に、当社が保有する特許および技術ノウハウの実施をタカラバイオ株式会社に許諾し、対価を受け取ります。

本リサーチ・ツールとして複数の製品が想定されておりますが、主力製品となることが期待されている製品は、医薬品候補物質がヒトに投与された時に不整脈などの副作用を起こすか否かを評価しようとするリサーチ・ツールです。 現在も、製薬企業は、開発中の医薬品候補物質を臨床試験でヒトに投与する前に、試験管レベルと動物レベルの評価試験を行い、ヒトに投与しても安全であろうと判断した医薬品候補物質について臨床試験に進めています。 しかしながら、ヒトと動物との種差などが原因で前臨床段階では有害反応を検出できない場合があり、ヒトに投与されて初めて有害反応が発見され、開発中止や販売中止に至るといった事態が起きています。 本リサーチ・ツールであれば、ヒトに投与した場合に起きる反応を高い精度で予測できると期待されており、動物実験や臨床試験の一部を試験管レベルの評価試験で代替することによって医薬品開発のコストとリスクを大幅に削減できると期待されています。

タカラバイオ株式会社は、細胞製品の製造に長け、研究用試薬の販売で実績を持つ事業者であり、本リサーチ・ツールの製造販売業および試験受託業を行うのに最適な事業者であると言えます。 タカラバイオ株式会社であれば、これらの事業を2年以内に開始できるものと期待しています。



<iHeart Japan 株式会社について>

国立大学法人京都大学 iPS 細胞研究所の山下潤教授の研究成果を産業に応用するために 2013 年に設立されたベンチャー企業。 iPS 細胞などの多能性幹細胞から心血管系細胞への分化誘導技術が強み。

本店所在地： 京都市左京区聖護院川原町 53  
京都大学メディカルイノベーションセンター  
代表者： 代表取締役社長 角田健治  
ウェブサイト： [www.iheartjapan.jp](http://www.iheartjapan.jp)

<タカラバイオ株式会社について>

寶酒造株式会社（現 宝ホールディングス株式会社）のバイオ事業としてスタートし、2002 年 4 月に設立。バイオ産業支援事業、遺伝子医療事業、医食品バイオ事業の 3 事業を展開し、平成 26 年 3 月期の連結売上高は 239 億円。遺伝子治療・細胞医療の事業化を進めるとともに、バイオ産業支援事業では世界のバイオ研究者向けに研究用試薬・理化学機器の販売や研究受託サービスを行っており、再生・細胞医療等の研究分野に向けた新製品・新サービスの開発に注力をしている。

本店所在地： 滋賀県大津市瀬田三丁目 4 番 1 号  
代表者： 代表取締役社長 仲尾功一  
ウェブサイト： [www.takara-bio.co.jp](http://www.takara-bio.co.jp)